教育機関と学生向け

シヤチハタ「J－Font.com」

筆文字フォントサービス割引プラン提供

シヤチハタ株式会社（舟橋正剛社長、名古屋市）は、筆文字を通して豊かな表現を実現するフォントサービス事業「J－Font．com（ジェイフォントドットコム）」で、教育現場における設備用の「教育機関向けプラン」と学生の個人PC用の「学生向け割引プラン（学割プラン）」（https://j-font.com/license）の2つの割引プランを提供している。教育機関向けプランは通常価格の50％OFF、学割プランは更に割引の85％OFFで利用できる。

J－Font．comの筆文字は、映像や動画、ゲームの制作現場など多くのプロシーンで活躍中で、標準的なフォントとは一味違う、筆文字のインパクトを学生の頃から体験でき、ワンランク上のクリエイタースキルを身につけることができる。

①教育機関向けプラン
授業で使用しているPCにプロ必須の白舟フォントを導入することで、学生の制作物のクオリティアップが期待できる。商用利用も可能で、作品の展開先も選ばないことから、産&学ジョイント企画などにも最適。サービス名は「フォントライセンス白舟書体　教育機関向けプラン」。許諾範囲はゲーム・映像・WEBやSNSの画像&動画・各種印刷物など。契約形態は、1PC、1ライセンス。ライセンス価格は1年間9900円。

②学生向け割引プラン（学割プラン）
学生のうちからプロユースの高品質なフォントに触れることで、表現力を一層広げることができる。課題制作はもちろん、個人制作の同人誌、ゲーム、youtube動画など、多くのクリエイティブなシーンで活用できる。サービス名は「フォントライセンス　白舟書体　学割プラン」。許諾範囲は、ゲーム・映像・WEBやSNSの画像&動画・各種印刷物など。契約形態は、1PC、1ライセンス（1人1ライセンスまで）。ライセンス価格は1年間2970円。

何れも対象は大学、専門学校、高校、中学校、小学校、高等専門学校（高専）、大学校、各種スクール、その他文部科学省認定の学校などの生徒。

購入サイトは、何れもhttps://j-font.com/contents/education/。

「J－Font．com」は、広告媒体やメディア、プロモーション活動や書籍、デジタルコンテンツなどに幅広く使える白舟フォントを提供するフォントサービス事業。白舟フォントは、多彩な表現を実現する本格的な筆文字フォントで65書体を提供中。楷書や行書などのスタンダード筆文字から、遊び心溢れるデザイン筆文字まで、想像力をきらに広げる筆文字フォントを取り揃えている。

シュレッダー7機種

ライオン事務器

相生市のふるさと納税品に

株式会社ライオン事務器（高橋俊泰社長、東京都）のシュレッダー「シュレッドギア」7機種が、兵庫県相生市のふるさと納税返礼品に採用され、昨年12月より、ふるさと納税サイトに掲載されている。

「シュレッドギア」は同社の100％子会社、株式会社サンライテックが2019年11月より相生市の工場で製造し、ライオン事務器が企画・販売を行っている。

フラッグシップモデル「kiwami（極み）シリーズ」の細断サイズは、セキュリティの国際基準で定められた「書かれた文字の復元が不可能」と認められるセキュリティレベル6、7をクリア。高いセキュリティ性能に加え、静音性、耐久性などにも優れたハイスペックシュレッダー。その他、細断枚数やカットトラブルを未然に防ぐ独自機能の「楽どり」を搭載した機種など、用途に合わせてタイプを選べる多彩なラインアップを用意している。

納税返礼品に採用された「シュレッドギア」

春の新生活テーマに

日販と中三エス・ティ共催

文具店や書店350人来場

日本出版販売株式会社（奥村景二社長、東京都）と、グループ会社の中三エス・ティ株式会社（小林正史社長、東京都）は、1月13日、東京・台東区の東京都立産業貿易センター台東館で、文具共同商談会「NEO Start! 2023 New Life」を開催、文具店や書店など350人が来場した。

挨拶する日販・野口取締役

賑わう共同商談会

開会式で、日販・野口瑞穂取締役（文具雑貨商品本部長）は「2022年は世界的にも激動の1年だった。国内は円安の影響、資材の高騰などにより物価の上昇が続いているが、ウィズコロナの行動様式が浸透する中、社会経済活動の正常化が進み、水際対策の緩和や円安を追い風にインバウンドの需要が回復している。第3回目となる共同商談会は、春の新生活を前に、エンドユーザーの新しい日常を彩る商品ラインアップを紹介。また、注目を浴びている『文具女子アワード2022受賞商品』や、日販PB『komamon_Lab』などの提案コーナーも設けている。デジタル化が進んでいるが、知的活動の基本は読むことと書くことであり、まだまだ売上を伸ばす余地はある。集客数の減少を課題とする書店に新たな価値を提供し、知的好奇心を刺激する場としたい」と挨拶。

会場には116社の文具・雑貨メーカーが出展、新商品や季節商品、店頭企画コーナー向けの雑貨など、幅広い商品を展示。提案コーナーでは、テーマに沿った特別展示（学童・フレッシャーズ・新生活の3ジャンル別）や、注目度が高まっている「文具女子アワード2022」の受賞商品、文具ブランドとのコラボ雑貨「Old_Resta」、インキが映える透明軸の万年筆「Fonte」などの日販PB商品、出版業界から発信するサステナブルな取り組み「ONE ECO PROJECT」のプロダクト「本袋（文庫本サイズのポケットが付いたエコバッグ）」などをアピールした。

東京・丸の内に新店

ツタヤ　生活提案型の書店を展開

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（増田宗昭社長、東京都、略称CCC）と、TSUTAYAの加盟企業、ディスカウントスーパー「ヒーロー」を運営する株式会社ヒーロー（茨城県牛久市）は、東京駅の正面に位置する「丸ビル」の3、4階に「TSUTAYA BOOKSTORE MARUNOUCHI」を12月15日にオープンした。

新店舗は、「集い、想い、閃く書店」をコンセプトに、書籍に加え、仕事をより効率的にしてくれる文具やガジェット類、日常にちょっとした楽しみを与えてくれるインテリア雑貨やコスメ類、こだわりの文具、食雑貨、知育玩具なども取り揃え、お気に入りの本や雑貨、最新の情報が見つかる生活提案型書店として展開。

シェアオフィスとラウンジを併設

同店舗には、国内で17店舗目・丸の内エリア初出店となる「シェアラウンジ」（個室17室、会議室2室、220席）を併設している。シェアオフィスの機能性とラウンジの居心地のよさを併せ持つ空間は、コロナ禍で働き方が大きく変化した時代背景もあり、国内外に店舗を拡大、アプリダウンロード数も13万回を越えている。展開店舗は国内17店舗、台湾2店舗、提携店6店舗（2022年12月15日現在）。

同社では、「リモートワークが常態化し自宅でもカフェでもどこでも仕事ができるようになった現在だからこそ、アイデアソースとなる本が豊富な書店や居心地の良い空間など、インスパイアされる環境で仕事をしたいというニーズは高まり続けている」として、今後、首都圏に100のシェアラウンジを展開する方針を掲げて、商業施設をはじめ、オフィスビルやホテル、レジデンスなど様々な形態の施設内への出店を進める。

登録者数20万人突破

有隣堂ユーチューブチャンネル

有隣堂しか知らない世界

株式会社有隣堂（松信健太郎社長、横浜市）が開設している公式ユーチューブチャンネル「有隣堂しか知らない世界」（毎週火曜更新）が2022年12月15日に、登録者数20万人を突破した。

チャンネルを始めた経緯について、同社では「出版業界の市場縮小と構造変化が止まらないなか、このまま従来の延長線上の組織や意思決定では企業として存在し得ない。創業113年を迎えた当社も例外ではなく、何かをやって、それを成功モデルに育てなければという危機感があった。2019年の年末に、松信社長が『動画はこれから伸びるコンテンツ。やってみよう』と、チャンネル開設の企画が動き始めた」としている。

2020年2月25日に第1回目を配信するが、思うように視聴回数や登録者数は伸びず、ネタ探しから企画会議、撮影、動画編集まで試行錯誤を繰り返す。

その後リニューアルを行い、2020年6月30日より「有隣堂しか知らない世界」として第1回目を配信、現在のスタイルでの運用が始まった。2021年10月19日にはチャンネル登録者数10万人を達成、その約1年2カ月後に20万人を突破した。

チャンネル運用の目的は「有隣堂のファンづくり」。書店は、価格や品質、サービスで他社との差別化が難しい中、ユーチューブをきっかけに有隣堂を知ってもらい、有隣堂のファンになってもらうことを目指しているという。

同社のユーチューブチャンネルは、「有隣堂しか知らない」様々なテーマを、MCであるミミズクのぬいぐるみR．B．ブッコローと出演者の掛け合いで届けるチャンネルとして、有隣堂の強みと、動画完成度の高さの追求、商売気を抜きにしたエンターテイメント性重視のコンテンツを掛け合わせ、唯一無二の存在感を発揮している。

チャンネルから生まれたオリジナルグッズはキーチェーン付きぬいぐるみや、ジェットストリーム（ボールペン）などの定番グッズ以外に、知育玩具「LaQ　R．B．ブッコロー」や、シーリングスタンプなど、チャンネルの企画から生まれた商品も数多い。ユーチューブチャンネル発の有隣堂でしか買えないオリジナルグッズで、リアル店舗やECとの連動展開を強化している。

今後の展開について同社では、「昨年8月から開始したユーチューブライブでの視聴者との双方向のコミュニケーションに力を入れていくとともに、更なるグッズ展開で、リアル店舗との連動展開をより強化していく」と、述べている。

株式会社イムラに社名を変更

○…イムラ封筒

株式会社イムラ封筒（井村優社長、大阪市）は、2月1日より社名を「株式会社イムラ」に変更した。

これを機に創業の精神に立ち返り社会やお客が求める価値を創造するソリューション提供企業、クリエイティブな企業を目指し、「幸せが循環する、明日を創造する」をキャッチコピーに新たな気持ちで社業発展に力を尽くすと強調している。住所、電話番号に変更はない。

MD15周年イベントを開催

○…デザインフィル

株式会社デザインフィル（会田一郎社長、東京都）は、既報の通り、1月13～15日、東京・港区の青山・スパイラルで、「MDペーパープロダクツ」の誕生15周年を記念した書くを愉しむためのイベント「MD15th スペシャルイベント&ポップアップストア in東京」を開催、会期中、多数のMDファンで賑わった。

東京でのMDイベント

会場では、リニューアルした「MDノート」に国内外15人のアーティストが描いた作品展示のほか、エクスリブリス（蔵書票）への活版印刷体験、自分で紙を漉いて作るMDブロックメモの天糊体験のワークショップや、イベント限定アイテムの販売など、MDの世界観が楽しめる多彩なコンテンツを揃え、好評を博した。

東京に続いて、広島（1月28日～2月12日、中区のリーダンディート）、福岡（2月9～15日、中央区の六本松蔦屋書店）で開催。海外は、3月から7月にかけて、中国（杭州・蘇州）・台湾（台北）の3都市で開催予定。

BCN AWARD
ポメラとブギーボード最優秀賞

○…キングジム

株式会社キングジム（宮本彰社長、東京都）のデジタルメモ「ポメラ」と電子メモパッド「ブギーボード」が、BCN AWARD 2023「電子文具」部門で、最優秀賞を受賞した。

BCN AWARDは、全国の量販店のPOSデータを日次で収集・集計した「BCNランキング」に基づき、パソコン関連・デジタル家電関連製品の年間（1月～12月）販売台数第1位のベンダーを表彰する賞。

最優秀賞受賞した「ポメラ」

新社長に宮澤氏
CX向上を推進

○…カウネット

Eコマースサービスを提供する株式会社カウネットは、12月26日開催の臨時株主総会で、代表取締役社長に宮澤典友氏、社外取締役に野口竜司氏が新たに就任する役員人事を決議した。

同社はさらなる事業成長に向けて、データやAIなどのテクノロジーを活用して、顧客接点の全てで顧客体験価値を向上させるためのCXデザインを強化している。

新体制では、Eコマースやテクノロジーの活用に知見を持つ宮澤氏が代表取締役社長、コクヨで情報システム部門責任者を務めるなどIT領域で豊富な経験を持つ内田一雄取締役、さらにAI活用やDX推進を最前線で行ってきた野口竜司氏が社外取締役に加わり、顧客に支持されるプラットフォームを目指す。

【カウネット新経営体制】
代表取締役社長　宮澤典友（新任）
取締役　内田一雄
社外取締役　野口竜司（新任）
監査役　平田博史

吉井稔氏が新社長に就任

○…高田商事

高田商事株式会社は、12月20日開催の定時株主総会並びに取締役会で、辻重幸社長が退任し、吉井稔氏が社長に就任した。新役員は次の通り。

代表取締役社長　吉井稔（新任）
取締役　星野幸一、西座伸一（新任）
監査役　榎谷善夫（新任）